

北海道芸術デザイン専門学校 教科目概要(授業カリキュラム)

職業実践専門課程 建築デザイン学科(2年制) / 専門課程 国際建築工学デザイン学科(3年制)

建築士専攻

※2017年度実績

教科目	概要	1年次	2年次	3年次
英語	初歩的な英語の運用能力を養う。実践の場で自ら積極的に英語を使う意欲の向上を目指す。	○		
色彩計画論	色彩の基本的な概念、理論を学び、環境の色彩計画・デザイン事例に触れることにより色彩計画を習得する。	○		
キャリアデザイン	キャリアデザインの理論や社会の実情について学び、自立的・主体的に考え行動し、問題や課題に直面したときに自分で対処し解決する力を養う。		○	
基礎製図	建築設計図の基礎、表現、技法を習得すると共に、デザインすることの意義を学ぶ。	○		
設計製図Ⅰ	実務に必要な諸規定を設計実務とリンクした設計演習課題を通して学習し、建築設計における設計図書の作成プロセス、各段階における建築模型等検討資料の作成プロセスとその役割を理解し、基礎的設計技術を身につける。	○		
設計製図Ⅱ	設計製図Ⅰで習得した理論、知識、技術を発展させるために様々な建築用途の演習を通して建築を学ぶ。		○	
建築設計デザイン演習Ⅰ	デザイン基礎科目を踏まえ、建築設計デザインの在り方と課題について具体的に理解し、演習を通して建築設計デザインを行う意義と有用性について学ぶ。	○		
建築設計デザイン演習Ⅱ	建築設計デザインⅠを踏まえ、様々な用途の演習を通して、的確な空間把握、用途に応じた設計デザインを提案する能力を養う。		○	
建築設計デザイン演習Ⅲ-Ⅰ	複合用途の設計演習を通して、建築の機能、構成、意匠を把握し設計手法と技術を習得する。			○
建築設計デザイン演習Ⅲ-Ⅱ	建築設計デザイン演習Ⅱを踏まえ、設計技術、図面表現技術の応用と発展を行う。			○
建築CAD演習Ⅰ	建築CADの概要、二次元CADによる作図の方法を学び、コンピューターを利用した設計・製図技能を習得する。	○		
建築CAD演習Ⅱ	室内環境、景観などをシミュレーションし、素早く、きれいに、分かり易く、設計内容を揭示する能力を養う。		○	
住宅・店舗設計演習	住宅・店舗設計に係る基本科目等の基礎的な知識、技術、工法を踏まえ演習課題を通して住宅・店舗設計に関する知識と技術を学ぶ。		○	
建築計画Ⅰ・Ⅱ	各種建築物の計画に関する条件(立地、予算、法規、機能)を整理検討し、具体的な形状や空間としてまとめる設計能力を養う。演習課題を通して豊かな建築空間を合理的に計画し設計できる実践的な人材の育成を目指す。	○	○	
住空間計画	住宅を対象に住宅が成り立たせる背景を学ぶ。建築設計、計画における幅広い視野を習得。	○		
都市デザイン	私達の生活する都市は今どのような問題に直面しているか。今日の都市に求められているものは何かを論じ、具体例に即して考察する。		○	
都市計画論	都市デザインの基礎をなす都市・都市群に関する歴史や理論を取り上げ、都市の理想像や、都市群の階層理論、都市空間理論を学ぶ。都市問題の深刻さを考え、問題発生メカニズム理論と解決を学習する。			○
建築環境工学	安全・衛生的かつ快適な環境を実現するための基礎的な事項を学び、建築をとりまく自然環境の特性、熱移動の基本的プロセス、熱の平衡、人間の感覚と快適環境条件を理解する。	○		
建築設備計画	建築の要素技術である建築設備の位置づけおよび概論的な内容を講義する。給排水衛生設備計画を進める上で必要となる基礎知識を習得する。	○		
建築構造力学Ⅰ	本講義では構造力学の基本事項として、建築構造物の種類、力のつり合い、構造物のモデル化と作用する外力、構造物に生じる応力と変形の関係を理解する。	○		
建築構造力学Ⅱ	各種構造物が力学的にどのような構造になっているか構造力学の原理を理解させ、不静定構造に関する基礎理論を体系的に解説し、演習を交えて理解を深める。		○	
土質力学	建築構造物の設計時に必要となる、地盤の工学的性質に関する基礎知識を習得する。			○
建築構法	建築物の構造システムや建築形態とそれに相応しい構造材料・構造方式、および各種構造における構法を学習する。	○		
木構造	日本建築の特徴である木構造の基本を理解し、施工の概要、構造の特徴、木材の性質、構造設計に必要な構造計画を学ぶ。	○		
鉄筋コンクリート構造	コンクリート構造物の歴史、長所と短所、架構形式や力学的性質、設計法などを学ぶ。	○		

北海道芸術デザイン専門学校 教科目概要(授業カリキュラム)

構造計画	具体的な建築物事例を取り上げて構造の形状、骨組の形式について学び、具体的なシステムを設計し運用できる能力を養う。			○
鋼構造	鋼構造の建築空間構成に果たす役割、材料として鋼材の性質、空間構成の方法と設計の基礎となる変形・力の伝達と耐力等を体系的に理解することを目標とする。		○	
構造設計	構造形態と力の流れを理解し、各種構造式を有する建築構造物の構造設計法を学び、構造計画・各種構造計算および評価のできる能力を養う。		○	
耐震構造	地震国日本の耐震設計における1次設計法、2次設計法および動的解析について学び、耐震設計の基本的な考え方を理解する。			○
建築材料	建築に必要とされる材料の種類や性質、用途・用法を学習する。建築構造材料の力学的特性、耐久性を理解し、仕上げ材を適材適所に選定できる能力を養う。		○	
建築構造実験	1. 2年次の構造系科目において種々の構造部材や構造骨組の解析法ならびに挙動特性に関する基本的な知識を学んできたが、ここでは各種構造部材の構造性能の特性を理論的検証と合わせて習得する。		○	
建築材料実験	材料学で習得した知識を実験に実験で学習することで理解を深め、それらを確かな実力とする。			○
建築生産	建築の生産システムの特徴、他産業との関連について学び、建築が社会に何を生み出せるのかを知ることを目指す。	○		
建築施工	建築が完成に至るまでの手順・プロセスを知り、同時に安全管理や設備など、実際に建築士として役立つための知識を習得する。		○	
建築法規Ⅰ	建築基準法及び建築基準法施行令を基本として、建築物自体の主要な技術基準、都市計画区域等における主要な建築制限、制度規定について学び、設計に際しての実務に応用すべく能力を養う。	○		
建築法規Ⅱ	建築法規Ⅰで得た知識とともに、法を踏まえた上での建築設計・デザインの表現を知る。		○	
建築概論	建築を学び始めるにあたって、人間の生活環境としての建築空間を創造する理論、方法を概観することを目的とする。これから始まる建築に関する種々の専門分野の相互関係を理解する。	○		
造形演習Ⅰ	作品制作を通じて建築物を立体的に表現する能力を身につけ、建築設計に必要な三次元形態の把握、空間構成の基礎力を養う。空間の把握とその伝達表現をモデリング制作等の実践的な演習を通して習得する。	○		
造形演習Ⅱ	模型制作を通して各工法の基本となる構造や名称を学習し、現場施工の手順に沿って組み立てることにより、施工の流れの概略を理解する。		○	
北国の建築	雪国ならではの独特な設計や施工、デザイン、問題点などを事例を踏まえて学習する。	○		
建築プレゼンテーションⅠ	建築を表現するための手段としてのプレゼンテーションについて、知識と技術を学び、イメージや考えを相手に的確に伝える能力を養う。	○		
建築プレゼンテーションⅡ	基本計画・設計を造形的表現、技術的表現を用いて的確に伝達するビジュアルプレゼンテーション技法を学ぶ。		○	
景観工学	景観の概念と基礎知識を理解し、景観分析の基礎知識、景観計画の作業とプロセスを習得する。事例を交えながらこの問題について考察し、芸術行為と個人の役割、環境論という観点からこの問題を学ぶ。			○
パースペクティブ演習	設計意図を的確にクライアントに伝え、かつ自身の空間イメージの把握として、パース技法を習得する。	○		
ユニバーサルデザイン論	バリアフリー新法を理解し、ユニバーサルデザインを考慮した各部寸法、面積、配慮事項を設計演習を通して学ぶ。	○		
寒地建築設計	寒冷地の快適な建築についての基礎知識や適した計画、材料選びなど、寒地建築の専門性を知ること、北国建築の特有の知識を身につけ、社会で役立つ人材の育成を目指す。			○
ランドスケープデザイン	都市計画・環境を豊かにする発想や技術を習得し、地域社会にデザインで貢献できる能力を身につけ、社会で活躍できる人を送り出すことを目的としている。			○
学外実習A (インターンシップ)	自分が就職したい職種の企業へ1～2週間企業研修を実施する。			○
学外実習B (フィールドワーク)	建築業界の職種構成、企業が望む人物像を学ぶとともに、自分の希望業種・職種を理解し、就職活動目標を定める。			○
空間デザイン論	建築計画の平面構成の基本となる、モノを平面的に構成していく常識、知識、その手法を学び、建築の平面構成力と発想力を養う。			○
建築情報処理演習	建築分野において、取り扱うデータ構造や業務で役立つ技術について、実社会での即戦力となるべく力を身につける。			○
建築CAD演習Ⅲ-Ⅰ	建築CAD演習Ⅰ、Ⅱを踏まえて2D、3Dを複合的に用いた製図技法、表現力を養う。			○

北海道芸術デザイン専門学校 教科目概要(授業カリキュラム)

建築CAD演習Ⅲ-Ⅱ	演習課題を通してコンピューターツールを用いた実践的な建築設計手法と表現を習得する。			○
造形演習Ⅲ-Ⅰ	建築としての造形について、哲学的に考察し、美しい建築の意味や造形美の原理を学ぶ。			○
造形演習Ⅲ-Ⅱ	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのこれまでの内容を強化するべく、造形美の原理を実際に用いて、より美しい作品を、その必要性とともに表現できるようにする。			○
建築プレゼンテーションⅢ-Ⅰ	著名人のプレゼンテーションなどを参考に、作成した模型やプレゼンボードを用いて発表し、人に伝えるスキルを身につける。			○
建築プレゼンテーションⅢ-Ⅱ	プレゼンテーションⅠ・Ⅱ・Ⅲを通して、学んできた知識や技術をさらに高いものとし、社会で役立つプレゼンテーション能力を養う。			○
卒業研究	これまでに習得した専門知識や技術を活用し、社会的な広い視野から作成テーマを導き、企画・設計・プレゼンテーションを行い、建築を行う意義を見出すことを目的とする。			○
総履修時間		1,200	1,200	1,200
取得目標資格	在学时:2級建築施工技術検定(学科)、建築CAD検定、福祉住環境コーディネーター、色彩士検定、宅地建物取引士、アソシエイトインテリアプランナー、インテリアコーディネーター 商業施設士補、ビジネス能力検定ジョブパス、北海道専修教育士、Photoshopクリエイター能力認定試験、Illustratorクリエイター能力認定試験など 卒業後:一級建築士(実務経験4年)、二級建築士(卒業と同時)、木造建築士(卒業と同時)、インテリアプランナー、1級建築施工管理技士(実務経験5年) 2級建築施工管理技士(実務経験2年)、商業施設士(商業施設士補保有者は学科試験免除)			

※1年間で1,200単位時間、2年間で2,400単位時間、3年間で3,600単位時間学びます。

※時勢や企業のニーズにより、内容が変更になることがあります。